

株式会社 日本保育サービス

## アスク富沢保育園

平成26年度

### 福祉サービス第三者評価報告書



2015年3月31日

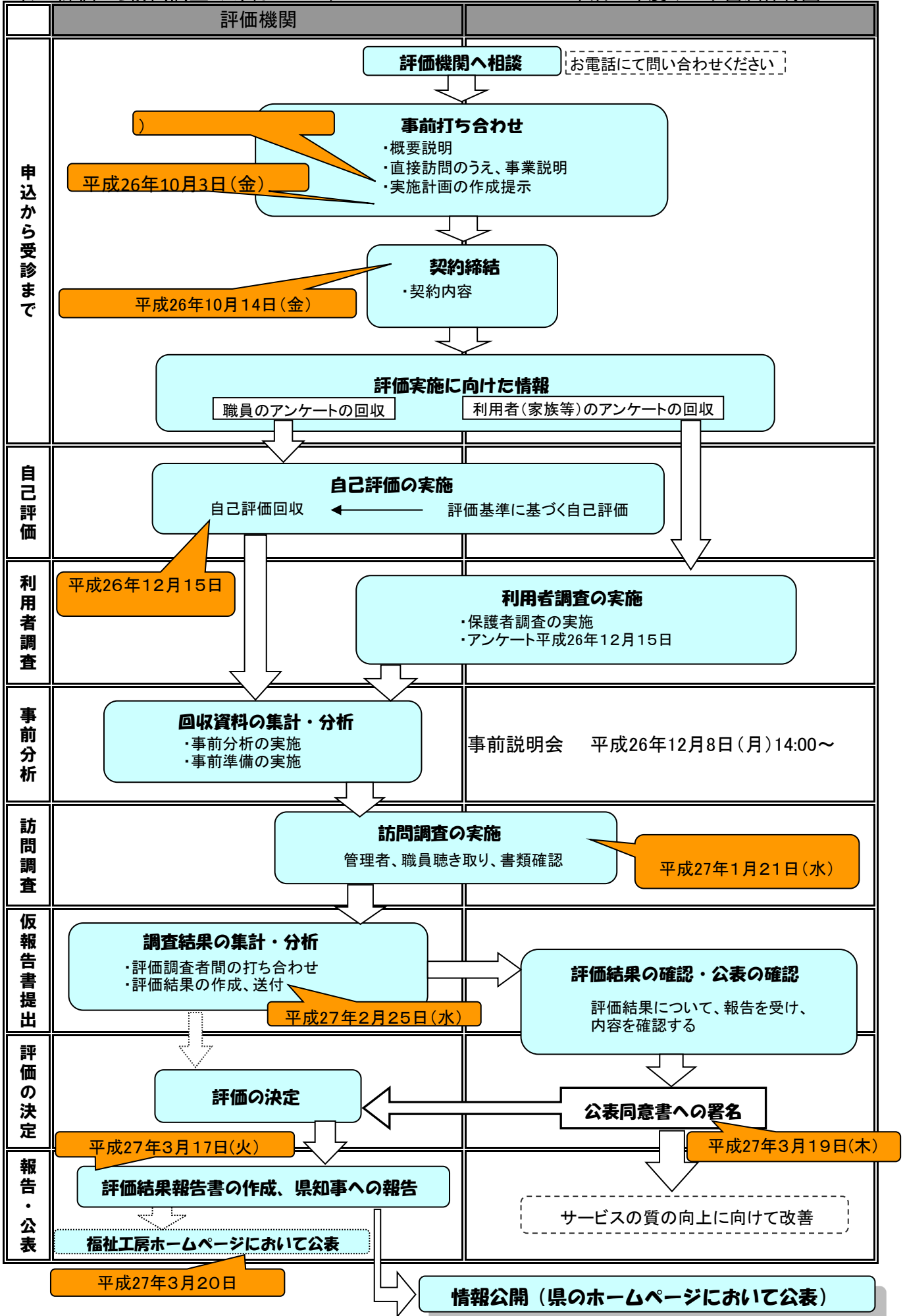
株式会社 福祉工房

みらいの富沢保育園



大きなメロンできたの！





(様式1 - 第三者評価機関公表用)

宮城県福祉サービス第三者評価結果

1. 第三者評価機関

名称	株式会社 福祉工房	認証番号	第002号
所在地	宮城県仙台市青葉区国見 1-16-27-201	評価実施機関	平成26年10月14日～ 平成27年3月31日

2. 事業者情報

名称(施設名): アスク富沢保育園	種別: 保育所
代表者氏名: 澁谷 裕子	定員(利用人数) 100名
所在地: 〒982-0014 宮城県仙台市太白区大野田字皿屋敷21-1	
TEL 022-304-4355	Fax 022-302-4355

3. 講評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>1. 質の向上に向けた取り組み</p> <p>園長はサービスの質の確認のため園内での意見箱の設置、園での行事後のアンケートの実施、保護者からの意見の窓口を明確化、毎月の保護者との運営委員会、年2回行われる、職員と園長との個人面談等を通じて現在のサービスの質に関する確認を行っている。また確認された課題に対して職員との会議で改善の話し合いが行われている。</p> <p>2. 利用者を尊重する姿勢</p> <p>利用者を尊重する姿勢は法人の保育目標、保育園の目標に明記している。現場に於いてはその子に合わせて身体的、精神的苦痛を与える、及び人格を辱めることがなく、人格を尊重する事を毎週リーダー会議、月1回のカリキュラム会議を通じ確認している。</p> <p>プライバシー保護のマニュアルが作成されていて、職員の姿勢、意識が明記されている。又、職員には園長が法人の会議での研修を受け伝達研修で職員と共有している。</p> <p>3. 職員の就業状況への配慮</p> <p>職員の勤務状況に関しては園長が定期的に確認しており、課題がある場合には面談等が行われている。</p> <p>職員とは年2回の面談が行われ意向の確認などが行われている。また、年度末にかけて勤務の継続に関するアンケートが法人より行われている。法人からはメンタル面のアンケートが職員に対し行われており、対応が必要と思われる場合は法人よりカウンセラーが来て面談が行われている。</p>
---

◇改善が求められる点

1. 地域との連携

現在地域との交流は開園1年未満でもあり、これから取り組んでいく課題となっている。隣接する有料老人ホームとの交流が進行しつつあり、また地域の小学校の体育館を運動会のため借りるなどの取組は行われている。園の第三者委員として地区長、地区の民生委員の会長が就任しており、この方々を通じた地域との交わりを徐々に行っていく取組が期待される。

2. 虐待を受けていると思われるときの対応

虐待を発見した時の対応マニュアルは職員が見える所に置き開示している。職員研修は行われていない。虐待を受けていると疑われる保護者への対応については関係機関の照会、通告等の連絡先は明示していない。職員への研修への取組、対応の周知が望まれる。

4. 第三者評価に関する事業者のコメント

第三者評価を受け、保育園の中で不足している部分や、これから考えていかなければいけないことに気づくことができました。

又、日頃の保育に関して、保護者の方がどのように感じているかを知ることができたので、この結果をもとに職員全体で話し合い、より良い保育園を目指していきたいです。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

## 福祉サービス第三者評価結果票(保育所版)

評価項目	評価結果
<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>	
<b>1 基本方針</b>	
(1) 基本方針が確立されている。	
① 基本方針が明文化されている。	a
<p>【コメント】</p> <p>日本保育サービス株式会社（以下法人という）の理念、方針をもとにアスク富沢保育園（以下保育園という）としての目標を設定、入園のしおり、事業計画に記載され、内容も保育に対する役割や機能を的確に表した内容となっている。法人の理念、方針に基づき保育園目標が職員との話し合いにより策定されている。</p>	
(2) 基本方針が周知されている。	
① 基本方針が職員に周知されている。	b
② 基本方針が利用者等に周知されている。	b
<p>【コメント】</p> <p>法人としての理念や方針は、職員に対し配布され、周知する取組が行われている。保育園としての目標は園内に提示され、常に職員が目にするよう工夫されているが、更に書面としてパートを含む全職員に配布して周知を促す取組をしていくことが望まれる。</p> <p>基本方針は入園のしおりに記載され、保護者への配布がなされている。更に、保護者に対し目標に向けた取組が記された事業計画等を示し説明していく取組が期待される。</p> <p>地域との連携は、開園して1年未満でもあり、これからの連携を期待したい。</p>	
<b>2 施設長の責任とリーダーシップ</b>	
(1) 施設長の責任が明確にされている。	
① 施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p>【コメント】</p> <p>園長の役割、責任は法人としての職務分掌に記載され、全職員への周知がなされている。更に年度の事業計画が作成されており、これを職員へ配布し、管理者としての取組を周知させていくことが望まれる。また、地域にも広報誌等を通じ園長の役割を表明していくことが期待される。</p> <p>法令等の変更に関しては、本社での情報をもとに月1回の本社での会議で情報を得ている。更に、職</p>	

員に対しても会議時において伝達されている。 関連する、法令に関して職員への周知を図る意味からもリスト化し整理していくことが望まれる。	
<b>(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。</b>	
① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
② 業務の改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
<p><b>【コメント】</b> 園長はサービスの質の確認のため園内での意見箱の設置、園での行事後のアンケートの実施、保護者からの意見の窓口を明確化、毎月の保護者との運営委員会、年2回行われる、職員と園長との個人面談等を通じて現在のサービスの質に関する確認を行っている。また確認された課題に対して職員との会議で改善の話し合いが行われている。</p> <p>業務の改善への取組として月に1回のカリキュラム会議、月～木のクラス会議、金曜日のリーダー会議等を通じて職員との業務上の課題などについての話し合いが行われている。</p> <p>質の向上、業務の向上に関して更に組織的な委員を選定するなど組織的な取組が期待される。</p>	
<b>II 組織の運営管理</b>	
<b>1 経営状況の把握</b>	
<b>(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</b>	
① 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b
<p><b>【コメント】</b> 経営状況に関しては本部で把握され、エリアマネージャーを通じて情報を得ている。取り組むべき内容は事業計画書に記載し明確化している。中長期計画に関しては現在作成中であるが、年度の終了時には課題の整理、解決のためのスケジュール等をもとにして中期計画の策定をしていくことが望まれる。</p>	
<b>2 人材の確保・養成</b>	
<b>(1) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>	
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
<p><b>【コメント】</b> 職員の勤務状況に関しては園長が定期的に確認しており、課題がある場合には面談等が行われている。</p> <p>職員とは年2回の面談が行われ意向の確認などが行われている。また、年度末にかけて勤務の継続に関するアンケートが法人より行われている。法人からはメンタル面のアンケートが職員に対し行われており、対応が必要と思われる場合は法人よりカウンセラーが来て面談が行われている。</p> <p>福利厚生に関して、法人としてリゾートクラブへの加入が行われており、職員は割引価格での宿泊施</p>	

設等の利用が出来るようになっている。冠婚葬祭時での補助金の支給や年1回の全社での運動会、海外研修、行事の後の食事会等への補助等の事業が行われている。	
<b>(2) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>	
② 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
<b>【コメント】</b> 法人の基本方針に質の向上がうたわれており、園としても年間での研修計画が立てられ、階層別、個人別の研修計画も作成され内部での研修、及び外部研修が行われている。内部では毎月のカリキュラム会議後に1時間ほどの研修が行われている。園外での研修を受講した場合は復命書の提出、必要に応じた伝達研修が行われ、受講した研修に対する評価も行われている。	
<b>(3) 実習生の受入れが適切に行われている。</b>	
① 実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	b
<b>【コメント】</b> 実習生受け入れに関する意義や目的は明確化されており、マニュアルも策定されている。開園から1年未満であり、保育実習生の受け入れはまだ行われていない。来年度は受け入れる予定であり、受け入れに対しての準備をしていくことが期待される。	
<b>3 安全管理</b>	
<b>(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。</b>	
① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
<b>【コメント】</b> 安全管理マニュアルが策定され、これに基づく取組が行われている。安全委員会が本社で組織され園長が委員となっており、本社での会合が適宜行われている。園内での安全管理に関する研修も年1回行われ、毎月の避難訓練、不審者対応に対する訓練、感染症に関する訓練が行われている。消防設備や、安全に関する設備の確認も定期的にチェックリストをもとに行われ記録もとられている。 現在事故に対する報告書が作成されているが、インシデントに関しての整理はされていない。インシデントに関する資料を基に事故の未然防止に取り組んでいくことが望まれる。	



4 地域との交流と連携	
(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
① 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている。	b
② 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	b
③ 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている。	b
④ 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取組を行っている。	b
④ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>現在地域との交流は開園1年未満でもあり、これから取り組んでいく課題となっている。隣接する有料老人ホームとの交流が進行しつつあり、また地域の小学校の体育館を運動会のため借りるなどの取組は行われている。園の第三者委員として地区長、地区の民生委員の会長が就任しており、この方々を通じた地域との交わりを徐々に行っていく取組が期待される。</p> <p>保育体験に関してもマニュアルは整備されているが、本年度は受け入れは行われていない。来年度より対応していく予定となっている。</p> <p>地域への子育て支援に関しても来年度以降の取組が期待される。</p> <p>ボランティアに関してのマニュアルは整備されており、今年度は読み聞かせのボランティア4～5名のチームの登録は行われたが、実際の活動は来年度からとなっている。来年度での積極的な取組が期待される。</p>	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
① 保育所の役割や機能を達成するために必要な関係機関・団体等の社会資源を明確にしている。	b
③ 関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>地域での社会資源に関し一部は明確化され資料は保護者へ配布もされているが、より整理しリスト化し職員間での共有、保護者への情報提供などを行っていくことが期待される。</p> <p>児童相談所、保健所等との連携は行われており、虐待が疑われる場合のマニュアルも作成されこれに基づく対応がなされる仕組みが出来ている。</p> <p>地区の小学校との連携は体育館を借りる等の連携は徐々に行われており、年長児の小学校の見学などに関しては今年度実施する予定となっている。</p>	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	
1 利用者本位の福祉サービス	
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	a
③ 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
<p>【コメント】</p> <p>利用者を尊重する姿勢は法人の保育目標、保育園の目標に明記している。現場に於いてはその子に合わせて身体的、精神的苦痛を与える、及び人格を辱めることがなく、人格を尊重する事を毎週リーダー会議、月1回のカリキュラム会議を通じ確認している。</p> <p>プライバシー保護のマニュアルが作成されていて、職員の姿勢、意識が明記されている。又、職員には園長が法人の会議での研修を受け伝達研修で職員と共有している。</p>	
(2) 利用者満足の向上に努めている。	
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a
④ 利用者満足の向上に向けた取組を行っている。	b
<p>【コメント】</p> <p>意向調査として行事の後のアンケートに於いても日ごろの意見を収集している。個別の聴取としては0歳～2歳児は個人連絡ノートを利用している。園だより、クラスだより、給食だより、保健だより、食農だよりを月1回発行し配布している。個人面談は年2回行っている。意向調査の結果に対する改善への取組が不十分であり改善が期待される。</p>	
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
<p>【コメント】</p> <p>意見箱を玄関に設置している。相談窓口は主任で責任者は園長で相談事項は記録されている。毎月の運営委員会で話し合いが行われ、参加しない保護者にはおたよりで報告している。相談窓口を解かりやすい場所に提示することが望まれる。又、保護者からの苦情、意見等は直接法人運営本部に電話、メール等で連絡するシステムを設けている。苦情対応マニュアルがあるが見直しはしていない。定期的な見直しが望まれる。又、苦情窓口として太白区役所家庭健康課が明記されている。利用者の意見には迅速に対応している。</p>	

<b>2 サービスの質の確保</b>	
(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
<b>【コメント】</b> 毎週金曜日に各クラスのリーダーが参加して定期会議を開催している。職員による自己評価は年2回行われている。福祉サービス第三者評価を受審する事が事業計画にも明記されている。自己評価の結果を分析、評価を行ない改善していく取組が望まれる。	
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<b>【コメント】</b> 指導計画とマニュアル等を突合せ、実施状況を確認する仕組みは出来ているが、職員はまだこの仕組みに不慣れであり、今後、更に職員への教育、研修が望まれる。定期的な見直しは行われているが、組織的な見直しの仕組みを作っていくことが望まれる。	
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	b
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
<b>【コメント】</b> 保育の記録は管理上の記録と保育の実践上の記録がされている。ばらつきがないように記録の書き方に関する研修が望まれる。主任を責任者としての管理体制が作られており、事務所に鍵をかけて遅番の職員が確認して帰る仕組みになっている。法人の記録管理規程に基づき開示、請求への対応、保存、廃棄が行われている。子どもの情報の共有は月曜日は0歳児、火曜日は1歳児、水曜日は2歳児、木曜日は3歳4歳児5歳児のクラス会議及び金曜日のリーダー会議で課題を話し合い月1回の全体会議で情報を共有している。	
<b>3 サービスの開始・継続</b>	
(1) サービスの提供の開始が適切に行われている。	
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している	b

② 入園に当たり、利用者等にわかりやすく説明している。	a
<b>【コメント】</b> ホームページ、パンフレットが作成されている。公共施設や利用者が情報を簡単に入手できるような取組はしていない。公共施設等へのパンフレットを置いていくような取組も期待される。見学者の受け入れは行っている。入園のしおりで保護者に説明している。	
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
① 保育所の変更や家庭への移行などに当たりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	c
<b>【コメント】</b> 継続する引継ぎ文書としては移行届、退園児の記録として保管している。特別に引継ぎ文書はない。	
4 保育指導計画の策定	
(1) 子どもの観察や評価が行われている。	
① 様式や時期を定めて計画的に観察や評価を行っている。	a
② 子ども一人ひとりの課題を個別の保育場面ごとに記録している。	b
<b>【コメント】</b> 指導計画が作成され、月1回定期的に評価している。子ども一人一人の課題に関しては保育場面での具体的なニーズの記録が望まれる。	
(2) 保育指導計画が策定されている。	
① 保育指導計画を適切に策定している。	a
③ 定期的に保育指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<b>【コメント】</b> 保育指導計画は担当者が作成して、園長が責任者となり確認を行う体制は出来ているが、十分に機能していない部分があり改善していくことが望まれる。	
A	
1 子どもの発達援助	
(1) 発達援助の基本	
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	b
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
<b>【コメント】</b> 開園したばかりではあるが、保育計画が家庭、地域の状況、保護者の意向を考慮して作成されることが望まれる。月1回職員会議で評価、見直しを行っている。	

(2) 健康管理・食事	
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
③ 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
④ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
<p><b>【コメント】</b></p> <p>健康管理はマニュアルを作成して「入園のしおり」に健康診断、日々の健康管理、園での与薬等を明記し、保健だよりを発行し、日々保護者に健康の啓発をしている。歯科健診は食後の歯磨き等保育に反映している。</p> <p>感染症マニュアルが作成されていて、感染症の発生状況を玄関に提示して保護者に知らせている。</p> <p>与薬については入園のしおりに明記している。</p> <p>給食は保護者に献立表、レシピを配布して、サンプルが提示されている。保護者に食事の重要性を啓発している。アレルギー疾患の子どもへの対応は誤食がないようにトレーを色分けし、チェックファイル、チェックボードで確認している。主治医の診察をうけ、指示書を頂いている。</p>	
(3) 保育環境	
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	b
<p><b>【コメント】</b></p> <p>お昼寝用の布団は月に1回リース布団を利用、シーツは事業所で1週間に1回洗濯し清潔に保たれている。0歳児及び1歳児は布団で2歳児以降はマットレスを利用している。</p> <p>野外で活動できる園庭があるが、自然物の取り入れや季節に合った保育環境は開所1年目でありこれからの課題となっている。</p>	

(4) 保育内容	
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
② 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	b
③ 身近な自然や社会とかかわれるような取組がなされている。	b
④ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	b
⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	-
<p>【コメント】</p> <p>業務マニュアルの中に対応マニュアルがあり、子どもを受容して安心できる環境を作っている。</p> <p>基本的な生活習慣は子どもの生活リズムに合わせてトイレを利用している。又、素材や用具は保育士に話をして出して頂く。自由に体験できる遊具は用意されている。延長保育の時間は異年齢児と自由に遊びが行われ、人間関係を学ぶ機会となっている。家族の協力による動植物とのかかわりを更に持っていくことが望まれる。文化の違い、相手を尊重する心を育てるように保育計画が作成されている。</p> <p>乳児保育はDVDを見て研修している。現場においては0歳児は5分おきに1歳児は10分おきに体にさわると等、研修を受けた正職員及び経験豊富な保育士により確認されている。延長保育は補食、夕食が提供されているが家庭的な環境ではない。</p> <p>現在、障がい児はいない。</p>	
2 子育て支援	
(1) 入所児童の保護者の育児支援	
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	c

⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	c
<p>【コメント】</p> <p>保護者への育児支援では送迎の時の対話や連絡帳で日常的な情報を交換している。個別面談は年2回実施記録されている。クラス懇談会が年2回、保育参観懇談会が年1回、運営委員会が月1回開催されている。</p> <p>虐待を発見した時の対応マニュアルは職員が見える所に置き開示している。職員研修は行われていない。虐待を受けていると疑われる保護者への対応については関係機関の照会、通告等の連絡先は明示していない。職員への研修への取組、対応の周知が望まれる。</p>	
(2) 一時保育	
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	—
<p>【コメント】</p> <p>今年度は行われていない。</p>	
3 安全・事故防止	
(1) 安全・事故防止	
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	b
② 食中毒に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	b
③ 安全点検・事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	b
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員による訓練等が実施されている。	a
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員による訓練等が実施されている。	a
<p>【コメント】</p> <p>衛生管理マニュアルは栄養士が担当で責任者は園長となっている。栄養士による職員への指導もおこなわれている。定期的な検討会の設置と担当部署の設置が望まれる。</p> <p>食中毒マニュアルは作成されていて、職員には開示されているが研修は行われていないので職員に周知されていない。職員への研修などを通じた周知が望まれる。</p> <p>安全点検、事故防止はチェックリストに従って園内外の点検が行われている。インシデントレポートからの危険個所の点検や、安全確認報告書による毎日の点検が行われている。子どもに対する安全教育が行われている。ヒヤリハットの報告はしているが課題としては活用していない。ヒヤリハットの活用が望まれる。</p> <p>事故、災害の対応はマニュアルが整備されて、毎月避難訓練、消火、通報訓練が実施され、年2回業者によって消防用設備点検が実施されている。</p> <p>不審者侵入マニュアルが整備されていて、保育園の入口に監視カメラを設置し、又、安全に園外活動ができるように必ず携帯電話とともに「ココセコム」の携帯を義務付けている。</p>	

## 家族アンケート集計結果(グラフ)

施設名: アスク富沢保育園

回収率: 46.0%

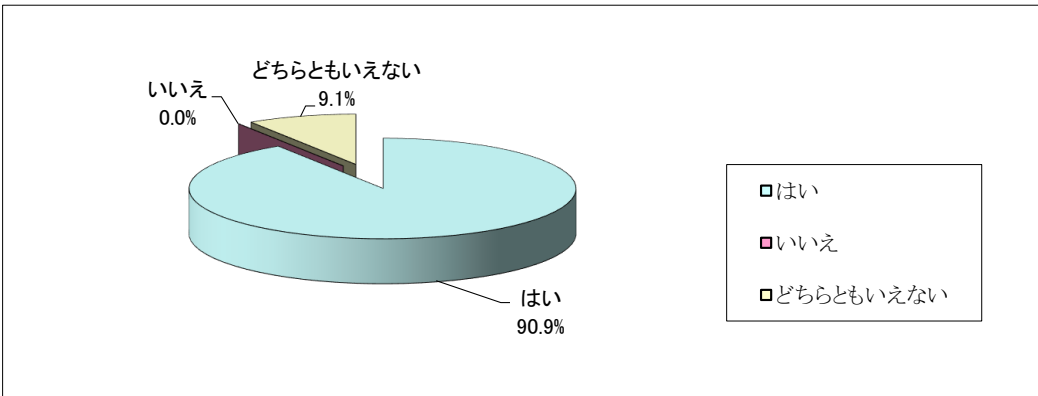
アンケート回収  
33名 回収率  
71名 46.0%

### 1、お子さんが保育園に入園したのはいつですか。

	今年(26年)	去年(25年)	おとし(24年)	3~4年前	5~6年前	回答者合計
人数	32	1	0	0	0	33名
%						

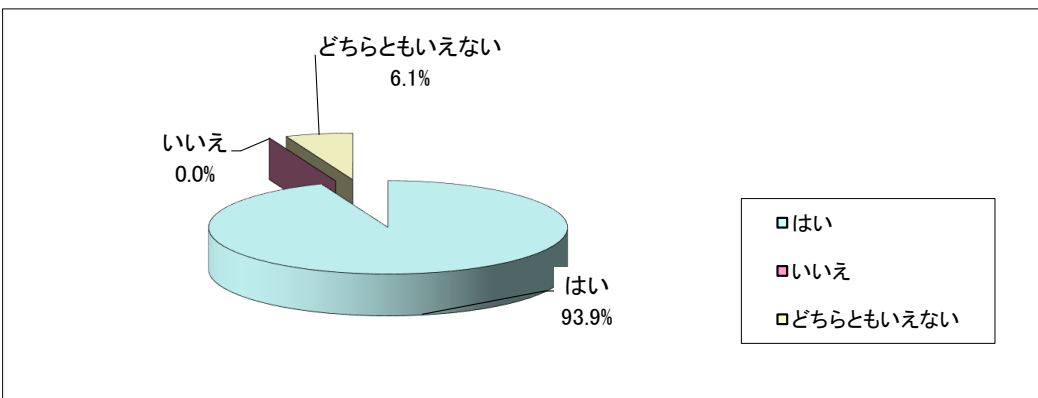
### 2、保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	30	0	3	0	33名
%	90.9%	0.0%	9.1%	0.0%	100.0%



### 3、お子さんは保育所で大切にされていると思いますか。

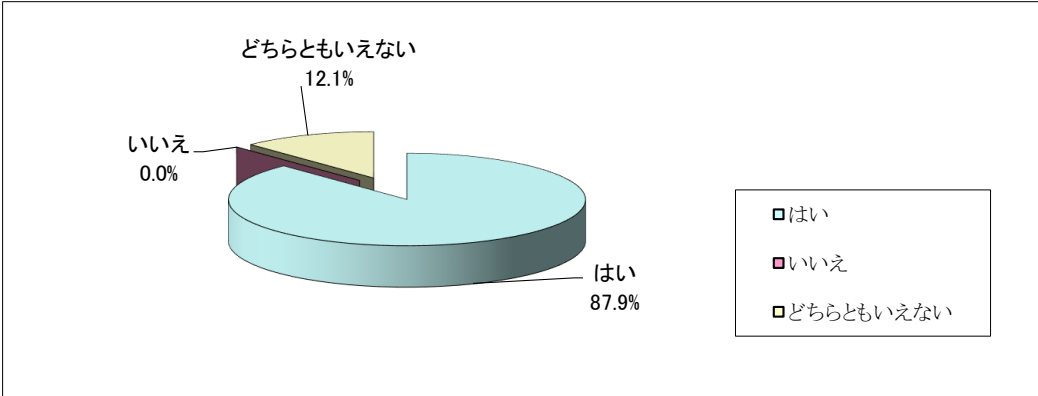
	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	31	0	2	0	33名
%	93.9%	0.0%	6.1%	0.0%	100.0%





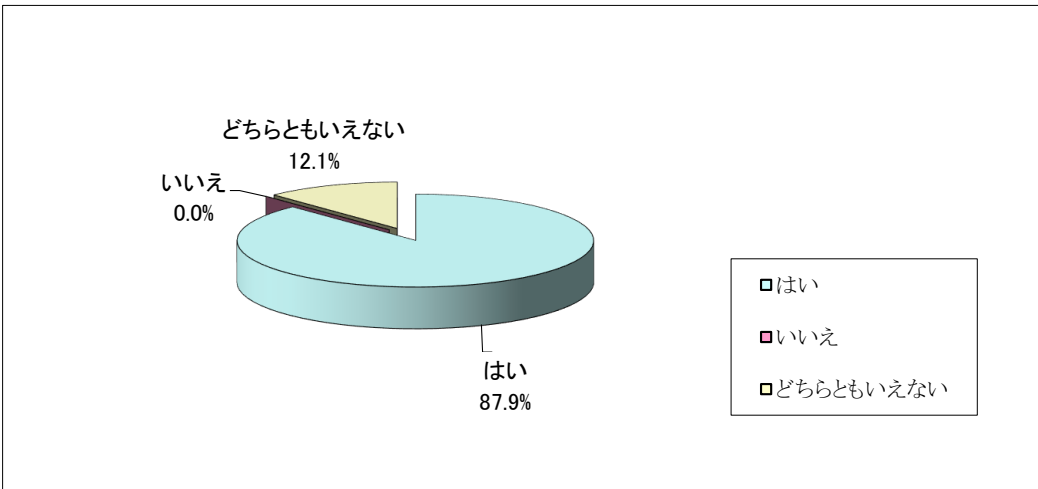
4、職員はあなたのご家族やあなたのお子さんに関するプライバシー(秘密)を守っていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	29	0	4	0	33名
%	87.9%	0.0%	12.1%	0.0%	100.0%



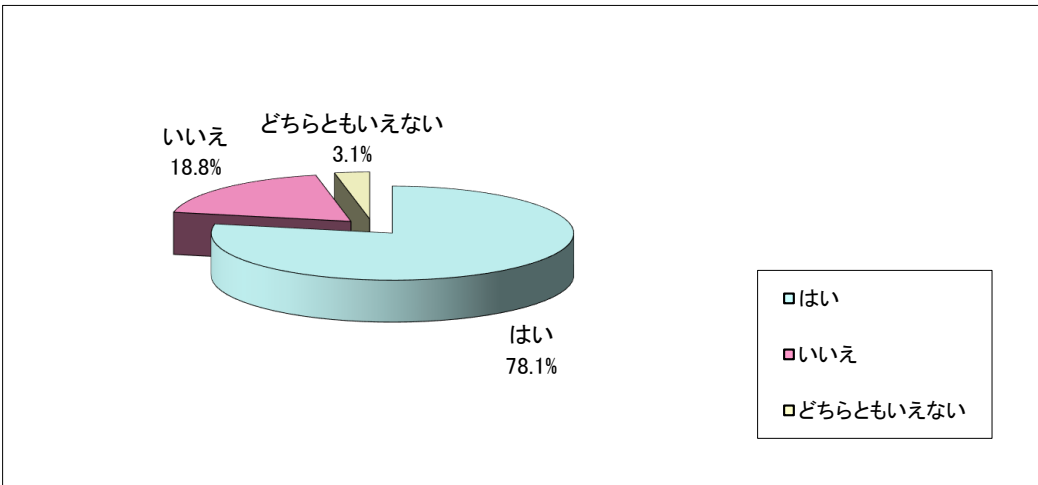
5、保護者が保育所の運営や保育内容などの意見を言いやすいように、職員は日常的に保護者に言葉かけを行うなどの取組をしていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	29	0	4	0	33名
%	87.9%	0.0%	12.1%	0.0%	100.0%



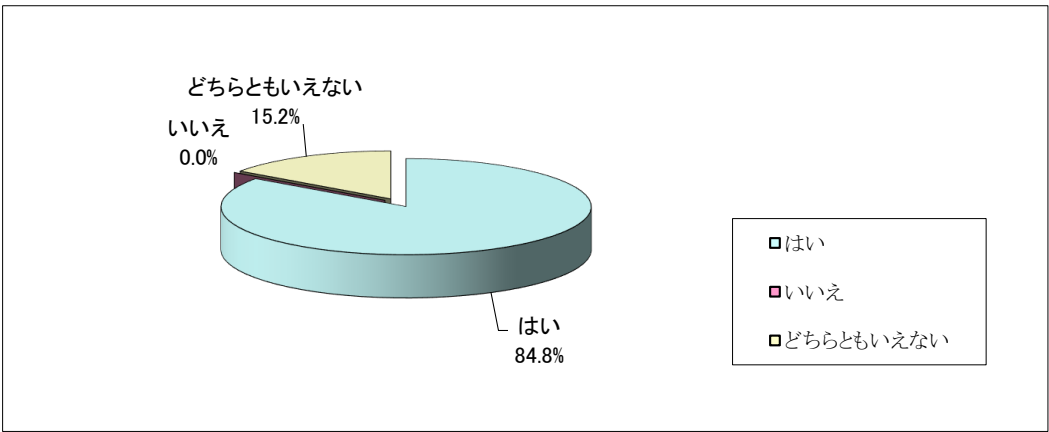
6、サービスに関する不満や苦情など直接職員にいえない場合は、職員以外の人(第三者委員)にも相談できることを知っていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	25	6	1	0	32名
%	78.1%	18.8%	3.1%	0.0%	100.0%



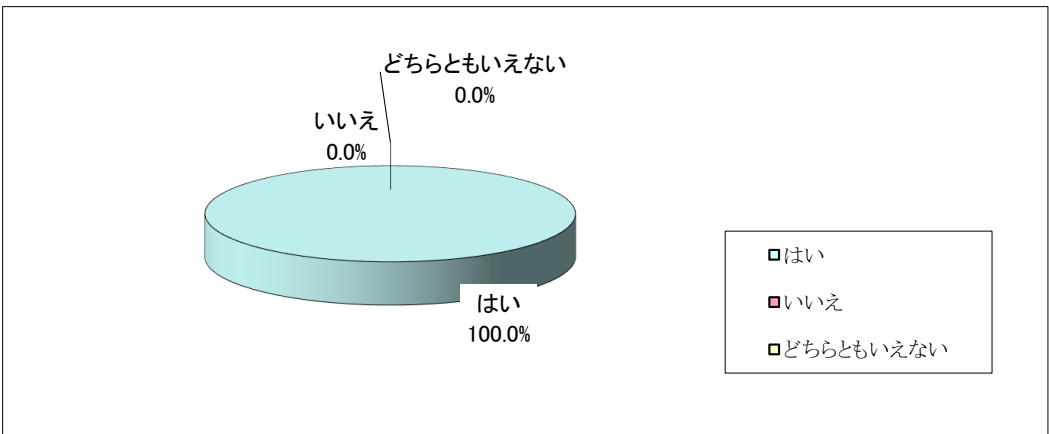
7、保育所は、意見や要望にきちんと対応していますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	28	0	5	0	33名
%	84.8%	0.0%	15.2%	0.0%	100.0%



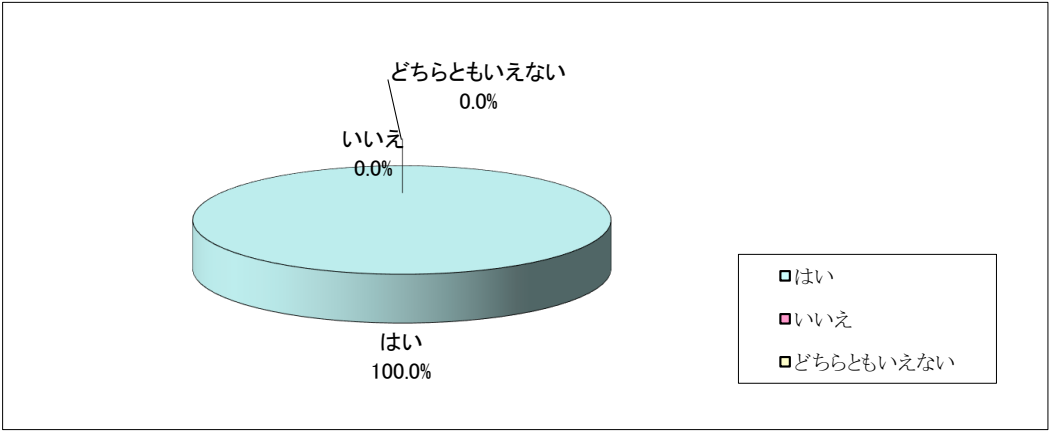
8、個人面談等で保育所があなたのお子さんに対してどのような保育を行ってほしいか、保護者の意向を聞いていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	33	0	0	0	33名
%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



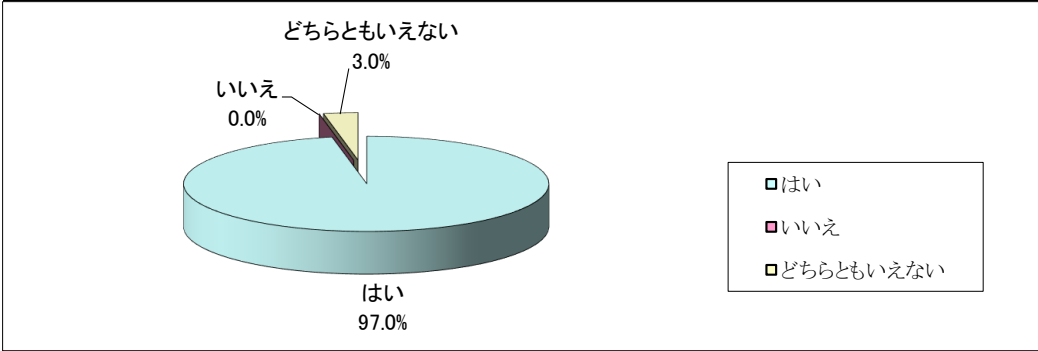
9、保育中の発熱やけがの処置、保護者への連絡等体調変化への対応が十分ですか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	33	0	0	0	33名
%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



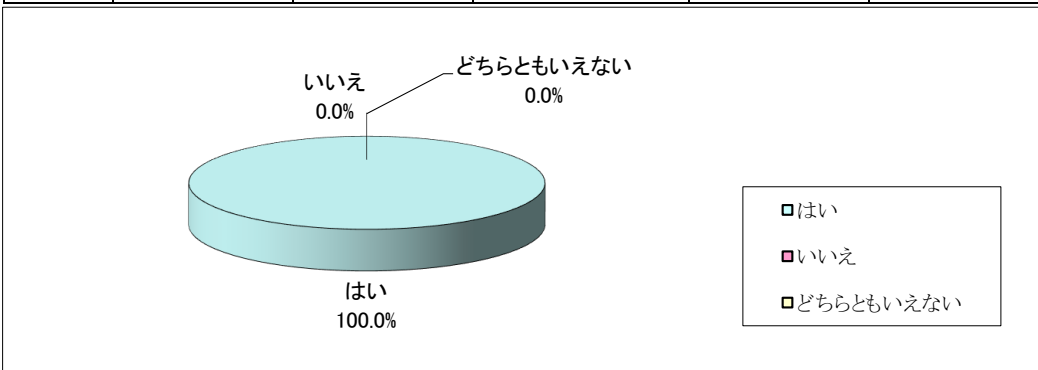
10、食事(給食)・おやつなどのメニューは、子供の状態に配慮されていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	32	0	1	0	33名
%	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%



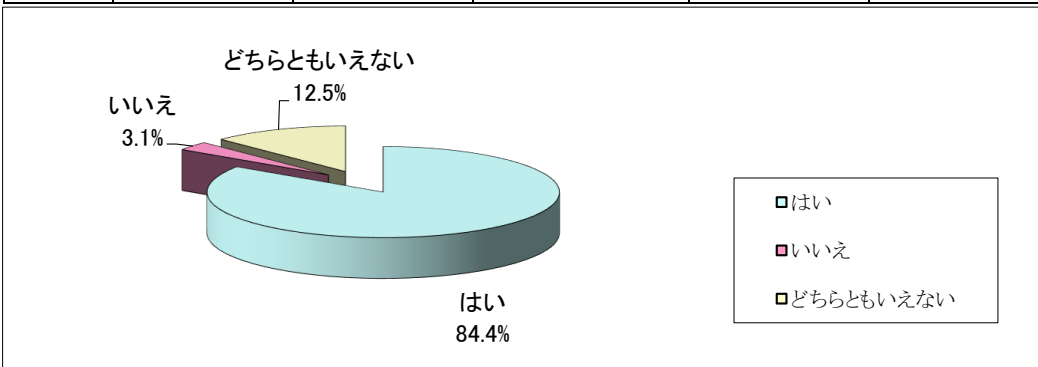
11、保育所に食育に関する取組(レシピやサンプルの表示、食材の安全性、発育時の食事の重要性など)を保護者に伝えていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	33	0	0	0	33名
%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



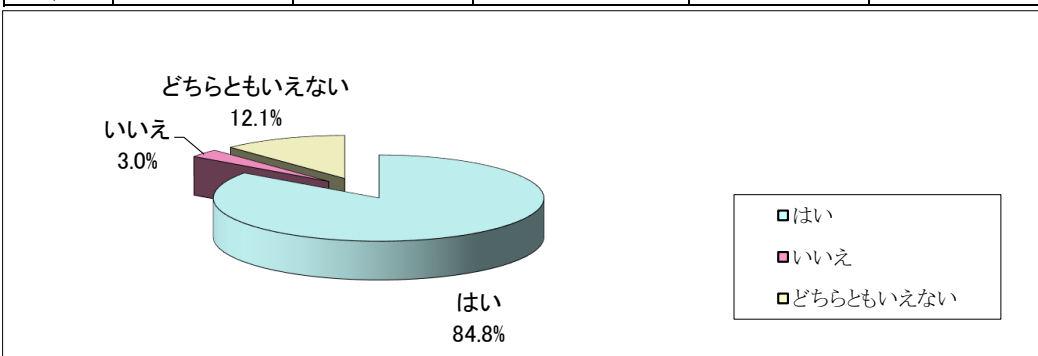
12、送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じ、園や家庭での子どもの様子について情報交換されていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	27	1	4	1	33名
%	81.8%	3.0%	12.1%	3.0%	100.0%



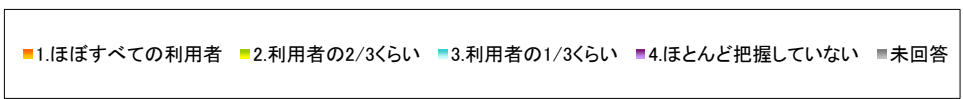
13、お子さんの発育や育児について懇談会等を開催し、保育所と保護者が共通認識を得る取り組みを行っていますか。

	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答	回答者合計
人数	28	1	4	0	33名
%	84.8%	3.0%	12.1%	0.0%	100.0%














サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

保 育 士(20名)	
1	幼児にとって「アスク富沢」での生活は居心地良いと思っている 
2	入所時に保護者家族に重要事項説明書を十分に説明をしている 
3	保育計画は幼児保護者の希望に合っている 
4	「アスク富沢」での生活リズムは幼児の希望に合っている 
5	清潔、温度や明るさは利用者に丁度良いと思っている 
6	食事はおいしいと思っている 
7	幼時の散歩や遊び等の活動ができるように支援している 
8	幼児の体調が悪い時はすぐ対応している 
9	保護者の不満や苦情に対して十分に対応している 
10	幼児のプライバシーの保護について十分に配慮している 
11	幼児に対して優しく丁寧に接している 



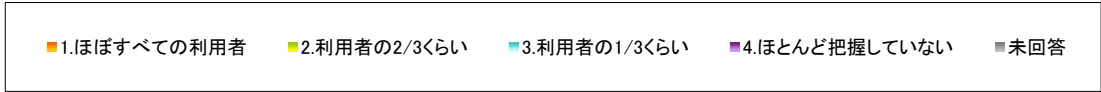
サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

看 護 師・栄養士・調理師(5名)	
1	<p>幼児にとって「アスク富沢」での生活は居心地良いと思っている</p> 
2	<p>入所時に保護者家族に重要事項説明書を十分に説明をしている</p> 
3	<p>保育計画は幼児保護者の希望に合っている</p> 
4	<p>「アスク富沢」での生活リズムは幼児の希望に合っている</p> 
5	<p>清潔、温度や明るさは利用者に丁度良いと思っている</p> 
6	<p>食事はおいしいと思っている</p> 
7	<p>幼時の散歩や遊び等の活動ができるように支援している</p> 
8	<p>幼児の体調が悪い時はすぐ対応している</p> 
9	<p>保護者の不満や苦情に対して十分に対応している</p> 
10	<p>幼児のプライバシーの保護について十分に配慮している</p> 
11	<p>幼児に対して優しく丁寧に接している</p> 

■ 1.ほぼすべての利用者
 ■ 2.利用者の2/3くらい
 ■ 3.利用者の1/3くらい
 ■ 4.ほとんど把握していない
 ■ 未回答

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

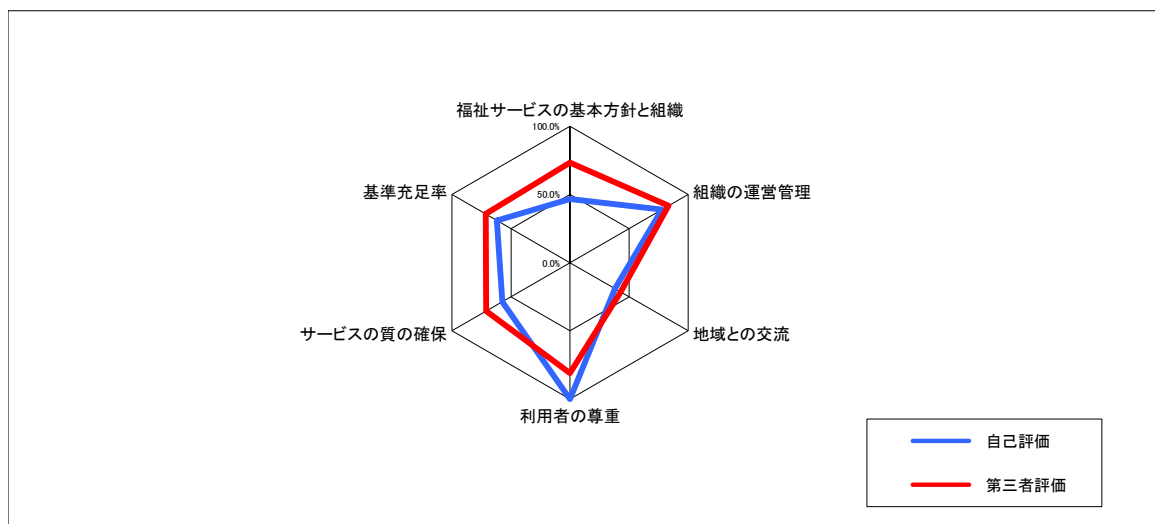
職員全体(25名)	
1	<p>幼児にとって「アスク富沢」での生活は居心地良いと思っている</p>
2	<p>入所時に保護者家族に重要事項説明書を十分に説明をしている</p>
3	<p>保育計画は幼児保護者の希望に合っている</p>
4	<p>「アスク富沢」での生活リズムは幼児の希望に合っている</p>
5	<p>清潔、温度や明るさは利用者に丁度良いと思っている</p>
6	<p>食事はおいしいと思っている</p>
7	<p>幼時の散歩や遊び等の活動ができるように支援している</p>
8	<p>幼児の体調が悪い時はすぐ対応している</p>
9	<p>保護者の不満や苦情に対して十分に対応している</p>
10	<p>幼児のプライバシーの保護について十分に配慮している</p>
11	<p>幼児に対して優しく丁寧に接している</p>



# 事業評価

## アスク富沢保育園

	福祉サービスの基本方針と組織	組織の運営管理	地域との交流	利用者の尊重	サービスの質の確保	基準充足率	総評
自己評価	46.7%	77.8%	38.1%	100.0%	57.4%	62.0%	C
第三者評価	73.3%	83.3%	42.9%	81.0%	70.9%	71.4%	C



基準充足率	総合評価	サービスの質の向上に向けた取り組み状況
100%～96%	AAA	最も優れている。
95%～91%	Aa	大変優れている。
90%～86%	A	優れている。
85%～81%	Bb	良好である。
80%～76%	B	やや良好である。
75%以下	C	努力を要する。

株式会社 福祉工房

( 付 - 1 )